

「長期宿泊」に関するお問い合わせはこちらまで

- 村役場総務課企画係 0244-42-1613
- 原子力災害現地対策本部 024-521-7839

避難市町村の避難指示解除が相次ぐ中、村は、国が最長と提示した平成29年3月末の解除を要望しました。合わせて要望したのが、解除まで継続する長期宿泊です。1日も早く自宅に帰りたい方に配慮すると共に、村内で準備をする時間を、できるだけ確保するねらいもありました。長期宿泊を実施する中で見えてくる課題への対応も、今後の鍵を握ります。

長泥行政区を含む帰還困難区域の対応については、間もなく国の方針が示される見込みです。村は、長泥の復興についてもしっかりと要望を続けます。

長期宿泊を 始めたい時は

村役場へ届け出をお願いします
事前に住居の確認も必要です

長期宿泊を希望される方は、村役場本庁住民課もしくは飯野支所窓口へ届け出をしてください。

長期宿泊を始める前に、自宅の状況の確認を必ず行ってください。電気・ガス・水道(井戸水)・下水道・浄化槽などの点検をお願いします。詳しい点検方法とそれぞれの相談窓口は、「長期宿泊のしおり」でご確認ください。

「長期宿泊のしおり」について

役場本庁・支所の窓口にあります。
村のホームページの「村からのお知らせ」からも
見ることができます。

村内の復興事業が進む中、長期宿泊は、
避難指示解除準備区域・居住制限区域を対象に、
7月1日から実施されています。

スタート
しました

長期 宿泊



夏に加速する村内の整備事業 避難指示解除に向けて

村内では、公共施設などの再整備が急速に進んでいます。7月には、村商工会館と消防飯館分署が相次いで新施設を開所。旧公民館も、「飯館村交流センター」として生まれ変わり、8月13日に開館式を行う予定です。

こうした施設の建て替えは、老朽化などに伴い、震災前から検討されていたものも少なくありません。その中断や、避難によって状態悪化が進んだことか

ら、再整備は「待ったなし」となりました。復興予算が集中している今だからこそ、機を逃さず、労を惜しまず、未来への布石を打たなければなりません。

新施設は、飯館らしい心配りを大切に、使い勝手の良いものばかりです。間もなく開館する新しい交流センターなどをご利用の際は、工夫が凝らされた機能や親しみやすいデザインにもぜひ注目してみてください。



大谷地団地



宿泊体験館きこり



南相馬消防署飯館分署



村商工会館



新しい交流センター。公募した愛称は13日の開館式で発表の予定。詳細はP10の特集で